

令和3年4月28日

関係各位

岩手県高体連剣道専門部
部長 根 反 馨

第73回岩手県高等学校総合体育大会剣道競技開催に係る新型コロナウイルス感染防止ガイドライン
及び、連絡事項について

1 大会開催に当たって

本大会は、「全日本剣道連盟8月27日付けガイドライン（以下、全剣連ガイドライン）」「全国高体連剣道専門部申し合わせ事項」及び「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」の内容を遵守し、参加者全ての安全を確保しつつ実施するものである。参加に当たって各校顧問は、その内容を熟読し、よく理解の上、生徒へ周知・徹底すると共に、生徒の健康を第一に考えることが最重要である。

昨年末に全日本剣道連盟実施した審判研修会では、【新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法】の伝達がなされた。その内容に準じて実施された「東北選抜大会」「全国選抜大会」においても、その内容について研修会が繰り返され、4月の全剣連第56回中央講習会において改めて整理された。本専門部としても「審判研修」「試合者の研修」を3月末までに実施してきた。

本大会は、生徒達にとって大きな意義のある競技会である。考え得るあらゆる対策を講じて、全ての大会関係者にとって有意義な大会運営を目指すものである。

2 全国高体連からの指示内容

(1) 【特に試合者に事前に指導する事項】

- 1 試合者はつば（鐙）競り合いを避ける。接触した瞬間の引き技及び体当たりからの技（発声を含む）を積極的に出す。つば（鐙）競り合いになった瞬間、技が出ない場合にはただちに積極的に分かれる。試合者は審判員の「分かれ」の宣告を待つのではなく試合者双方で分かれる努力をする。
- 2 意図的な時間空費や防御姿勢（勝負の回避）による相手に接近する様な行為は規則第1条に則り反則を適用する。
- 3 試合者は、分かれる場合は主審の「分かれ」の宣告、あるいは試合者双方で分かれる場合にかかわらず、剣先が完全に触れない位置までお互いに分かれる。
- 4 分かれる場合は剣先を開いたり、下げて分かれぬ。
- 5 分かれる場合は双方がバラバラに下がらない。双方同じ気位で互いの鎧を削るようにして分かれる。
- 6 相互に分かれようとしている途中に技を出さない。この場合は技を出しても有効打突とはしない。一方が分かれようとしている場合に追い込んで打突した場合や分かれようと思わせて打突する行為は反則を適用する場合がある。
また、分かれる途中に相手の竹刀を「叩いたり」「巻いたり」「逆交差」をしない。
(審判員は状況や原因を踏まえた上で合議により判断する)
- 7 マスクとシールドの着用
マスクは、口鼻を隠し、正しく装着する。シールドに関しては、口を覆うものは必須とし、目を覆うものは自由とする。

(2) 延長戦の試合時間について

「面マスクによる熱中症防止」の観点から、「従来の勝負が決するまで時間を区切らない」を廃止し、以下の通りとする。

- ア) 延長戦を4分とする。
- イ) 延長戦は、2回連続して実施し（8分間）、「休息」を2分とする。
- ウ) 原則として「休息」は、試合場内で行うこととする。
- エ) 再開し、同じく延長戦を2回実施し（8分間）「休憩」を4分とする。
- オ) 原則として「休憩」は、選手席に戻り、面小手を外して、水分補給等が可能である。
- カ) これ以外の場面でも、試合者の体調が不安な場合は適宜休息・休憩を入れる。

3 大会開催・大会参加の可否について

(1) 大会開催期間中に、大会関係者（生徒、役員等）から陽性者及び濃厚接触者が発生した場合の対応は下記のとおりとする。

- ア) 大会開催中に陽性者が確認された場合は、その時点で大会を中止する。
- イ) 大会期間中に濃厚接触者と指定された場合は、濃厚接触者及び当該チーム関係者の大会参加を取りやめる。
- ウ) 上記ア・イが発生した場合は、関係機関へ連絡すると共に、保健所等関係機関に対応の指導を仰ぐ。

(2) 大会前に大会関係者（生徒、役員等）から陽性者及び濃厚接触者が発生した場合の対応は下記のとおりとする。

- ア) 大会直近（監督会議日）2週間以内にチーム内に陽性者及び濃厚接触者が確認された場合、そのチームは大会に参加出来ない。
- イ) 校内において陽性者及び濃厚接触者が確認された場合、保健所や学校長に指示を受けること。
- ウ) 陽性者、濃厚接触者がいるチームと直近2週間以内に練習試合等を行った場合は、大会に参加できない。

(3) その他の体調不良（発熱等）については、別途定めるところによって判断する。

4 大会参加について

(1) 生徒の参加について

- ア) 参加出来る生徒は、「選手」「部員（選手以外の生徒）」「補助員生徒」とする。
- イ) 各校顧問は、参加について保護者から同意を得ること。
※得られない場合は、参加できないこととする。
- ウ) 参加の意思確認は、**参加（選手・応援・補助員）同意書【様式1】**を提出すること。
※同意書は、事前に配布され、各家庭で記入・押印後、顧問がまとめて大会当日受付に提出する。

(2) 生徒の健康チェックについて

ア) 以下の場合には参加を見合わせるものとする。

①来場前

- ・息苦しさや倦怠感、発熱などの強い症状がある場合。
- ・基礎疾患がある生徒で発熱や咳などの比較的軽いかぜ症状がある場合。
- ・味覚や嗅覚に異常が感じられる場合。
- ・上記のケースで濃厚接触者と思われる場合。

②来場時

- ・体温が37.5度以上の場合。

イ) **大会参加確認書【様式2】**の提出について

- ①当日、各校顧問は参加生徒を検温し、【様式2】に必要事項を記入の上、【様式1】と併せて受付に提出すること。

(3) 生徒以外で大会参加できる者

- ア) 大会役員（外部役員を含む）
- イ) 引率者・部活動顧問（当該校教職員）
- ウ) 監督（当該校学校長より依頼された者を含む）
- エ) 外部指導者、外部コーチ（当該校学校長より依頼された者）
- オ) 写真業者（事前に申請のあったものに限る）

5 大会運営について

(1) 大会日程について

- 5月20日（木） 10:00 開 場
- 11:00 令和3年度高体連剣道専門部部会（県営武道館 第1会議室）
- 13:30 受 付（14:00までにB表・オーダー表提出）
- 14:30 監督会議（県営武道館 第1会議室）
- 18:00 閉 場（練習終了）

- 5月21日（金） 8:00 開 場
- ※試合会場での練習は、開会式まで原則女子限定・2部限定
- 9:00 審判会議（県営武道館 第1会議室）
- 9:40 開始式 ※開会式は実施しない
- 9:50 競技開始
- 1 2部男子個人戦（1試合場） ※表彰式なし
 - 2 女子個人戦 ベスト8残し（1～6試合場）
- ※試合会場での男子選手アップ（30分間）
- 3 男子個人戦 ベスト8残し（1～6試合場）

- 16:00 競技終了
- 18:00 閉 場（練習終了）

- 5月22日（土） 8:00 開 場
- 9:00 審判会議（県営武道館 第1会議室）
- 9:30 競技開始
- 1 女子個人戦 ベスト4残し（1～4試合場）
 - 2 男子個人戦 ベスト4残し（1～4試合場）
 - 3 女子個人戦 決勝リーグ（1～2試合場）
 - 4 男子個人戦 決勝リーグ（1～2試合場）
- ※個人戦表彰式なし
- 5 女子団体戦 予選リーグ・ベスト8残し（1～6試合場）
 - 6 男子団体戦 予選リーグ・ベスト8残し（1～6試合場）
- 17:00 競技終了
- 18:00 閉 場（練習終了）

- 5月23日(日) 8:00 開 場
9:00 審判会議(県営武道館 第1会議室)
9:30 競技開始
- 1 女子団体戦 ベスト4残し(1~4試合場)
 - 2 男子団体戦 ベスト4残し(1~4試合場)
 - 3 女子団体戦 決勝リーグ(1~2試合場)
 - 4 男子団体戦 決勝リーグ(1~2試合場)
- 16:00 閉会宣言 ※閉会式は実施しない
※団体戦表彰式なし

(2) 練習会場について

- 20日(木) 大道場 11時00分~18時00分
 剣道場 13時00分~17時00分
- 21日(金) 大道場 8時00分~ 競技終了後~18時00分
 剣道場 8時00分~17時00分
- 22日(土) 大道場 8時00分~ 競技終了後~18時00分
 剣道場 8時00分~17時00分
- 23日(日) 大道場 8時00分~
 剣道場 8時00分~

※防具は観客席通路部分に置いていくことは可能だが、紛失等の責任は負わない。

(3) 競技について

ア) 試合について

- ①試合順番 個人戦・団体戦ともに5月7日以降に各校へ送信予定
- ②試合時間 「個人試合」4分、延長は勝負が決するまでとする。
「団体試合」
 - ・予選リーグ 4分延長2分(但し、2校の場合は勝負の決した以降は延長無し)
 - ・決勝トーナメント 4分延長2分(但し、勝負の決した以降は延長無し)
 - ・決勝リーグ 4分延長2分
- ③試合方法 予選リーグ、決勝トーナメントは従来通りとする。
決勝リーグは、各試合毎勝敗を決定する。(※詳細は監督会議時に説明)

(4) 竹刀検量について

ア) 本大会は、「竹刀検量」を行わないこととし、各顧問は以下のことに留意すること。

- ①各校顧問が竹刀の点検し、安全管理を徹底して行うこと。
- イ) 「不正竹刀」の使用が無いよう以下の指導を徹底すること。
 - ①長さ、重さについて
 - ②先皮、中結い、弦、柄等の部品について
 - ③「先皮の太さ」「ちくとう部の太さ」について(可能であれば)

ウ) 明らかに「不正竹刀」と認められる時の処理について

※明らかに故意に不正竹刀を使用したと認められる場合は、没収試合を検討することもある。 例) 3尺9寸竹刀の使用

(5) 監督会議時の注意事項について

ア) 会場は、「県営武道館第一会議室」で、「14時30分」開始です。※時間厳守でご参集下さい。

尚、受付時間 <13時30分から14時00分まで>を厳守願います。

※A表とB表とオーダー表の読み合わせ作業があります。

イ) 団体戦「B」表を受付に提出下さい。

①A表で登録済みの選手以外の登録（登録選手変更含む）は、監督会議時の承認が必要となります。

※受付時に赤嵩までご相談下さい。

②緊急の変更以外は、予め赤嵩までご相談下さい。校長名で登録選手の変更願いを作成下さい。

③B表は、赤嵩まで送信する必要はありません。

ウ) 団体戦「オーダー表」を受付に提出して下さい。

①男子：黒、女子：朱であること。※プリンター等で作成したものも可です。

②用紙サイズ：横89.5cm、縦24.0cmとすること。

③左側より学校名、先鋒から大将の順に縦書きとすること。

エ) その他詳細は、監督会議時に確認する。

(6) 会場使用について

ア) 会場の使用制限について

①選手・部員は、一階と二階の行き来を自由に行える。

②但し、部員が応援する際は、二階観客席を使用する。（※試合場付近での応援は、厳禁）

尚、観客席に座る時は、前後左右に【一席分の空間】を設けること。

③引率者、外部コーチについては、制限を設けない。（※外部コーチとは、学校長から依頼されている者をいう。）

④試合前のアップは、【団体戦B表登録選手】と【個人戦出場選手】とする。尚、朝のアップは生徒のみとする。

※個人戦一名での参加の場合は、他校に練習相手をお願いしても良い。

イ) 会場への入場・退場は、以下のとおりとする。

①選手の入退場口は、二階入り口のみとする。（正面玄関・小道場の入り口を使わないこと）

※朝の入場時、7時50分まで入り口付近に並ぶことを厳禁とする。

②入場退場に制限をしないが、なるべく外部との行き来を控えること。

③保護者等の無断入場が発覚した場合は、当該校へ厳しい指導を行うものとする。（※悪質な場合は出場権の剥奪など）

ウ) 生徒の車等への乗降は、駐車場内で行うことを原則とし、武道館前の路上は厳禁とする。

※バス・タクシーの運転手、送迎の保護者などに指示徹底をすること。

エ) 剣道具等の荷物は、二階廊下（座席禁止）に置くこととする。但し、紛失等の責任は負わない。

オ) 土足を厳禁とする。

カ) 会場内のコンセントは、使用禁止とする。

(7) マスク・シールドについて

ア) 試合中は、「面マスク」「シールド（口元）」を必ず装着すること。

イ) 試合前後のマスクについて

①次試合控えに待機時から、面マスクを着用すること。

②団体戦の始めと終わりの整列時は、面マスクを着用すること。

ウ) 試合以外の時間帯のマスクについて

①常にマスク（販売されている物）を着用すること。但し、面マスクも可とする。

(8) その他

ア) 感染症対策

①消毒、うがい、手洗い等の健康管理をこまめに行うこと。

②不必要な密接を避け、ソーシャルディスタンスを意識すること。※短時間のミーティング、円陣等はこの限りではない。

イ) 本大会において「写真付きプログラム」の販売は行わない。

ウ) 試合審判規則変更に関わることについて

①剣道着、剣道具：従来通りとする。

但し、あまりにも見苦しい時は、大会終了後に監督を通じて通達する。

エ) 写真業者の許可について

①事前申請された学校のみ許可する。(配信された様式に従い記入し、監督会議受付時に提出すること。)

(9) 上位大会出場枠について

ア) 東北選手権大会出場枠について

・団体出場枠は、**ベスト4の4校**とする。

・個人出場枠は、**ベスト8の8名**とする。

イ) インターハイ出場枠について

・団体出場枠は、**優勝校の1校**とする。

・個人出場枠は、**1位と2位の2名**とする。